

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書(案)

計画の名称	円滑な拠点間交通の確保																											
計画の期間	平成21年度	～	平成24年度	交付対象	静岡県、御殿場市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、小山町、袋井市、湖西市、川根本町、南伊豆町、西伊豆町、東伊豆町																							
計画の目標	地域の拠点間を結ぶ道路のネットワーク構築や渋滞対策を推進することにより、産業活動や地域の生活の支援および交流の拡大を図る。																											
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民1人当たりの渋滞損失時間を35.8時間(平成20年度値)から32.9(平成24年度値)に短縮する。</li> <li>・中心都市等への30分行動圏人口カバー率を87.1%(平成20年度値)から92.5%(平成24年度値)に向上させる。</li> </ul>																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H21当初)</th> <th>中間目標値 (H 末)</th> <th>最終目標値 (H24末)</th> </tr> <tr> <td>① 県民1人当たりの渋滞損失時間 (渋滞損失時間) = { (現状の旅行時間) - (改良後の旅行時間) } × (交通量) × (平均乗車人員) × 365 / (県人口)</td> <td>35.8時間</td> <td></td> <td>32.9時間</td> <td rowspan="3">県民1人当たりの渋滞損失時間のH21当初値は、集計中(H21.12頃発表予定)のため、平成19年度実績値と平成24年度目標値を直線補完した値を記載。</td> </tr> <tr> <td>② 中心都市等への30分行動圏人口カバー率 (30分行動圏人口カバー率) = (高規格幹線ICおよび地域中心都市へ30分以内に到達できる地域に居住する人口) / (県人口)</td> <td>87.1%</td> <td>-</td> <td>92.5%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H 末)	最終目標値 (H24末)	① 県民1人当たりの渋滞損失時間 (渋滞損失時間) = { (現状の旅行時間) - (改良後の旅行時間) } × (交通量) × (平均乗車人員) × 365 / (県人口)	35.8時間		32.9時間	県民1人当たりの渋滞損失時間のH21当初値は、集計中(H21.12頃発表予定)のため、平成19年度実績値と平成24年度目標値を直線補完した値を記載。	② 中心都市等への30分行動圏人口カバー率 (30分行動圏人口カバー率) = (高規格幹線ICおよび地域中心都市へ30分以内に到達できる地域に居住する人口) / (県人口)	87.1%	-	92.5%	③			
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																								
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H 末)	最終目標値 (H24末)																									
① 県民1人当たりの渋滞損失時間 (渋滞損失時間) = { (現状の旅行時間) - (改良後の旅行時間) } × (交通量) × (平均乗車人員) × 365 / (県人口)	35.8時間		32.9時間	県民1人当たりの渋滞損失時間のH21当初値は、集計中(H21.12頃発表予定)のため、平成19年度実績値と平成24年度目標値を直線補完した値を記載。																								
② 中心都市等への30分行動圏人口カバー率 (30分行動圏人口カバー率) = (高規格幹線ICおよび地域中心都市へ30分以内に到達できる地域に居住する人口) / (県人口)	87.1%	-	92.5%																									
③																												
全体事業費	合計 (A+B+C)	7,673 百万円	A	7,080 百万円	B	30 百万円	C	563 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	7%																		

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ			
第2期 (H20～H24)		第3期 (H25～H29)	
分野名	活力・交流	分野名	
目標名	都市・地域交通の快適性、利便性の向上	目標名	
指標名	中心都市等への30分行動圏人口カバー率	指標名	目標値 (H29)
	目標値 (H24)	92.5%	

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H21	H22	H23	H24			
2-A15	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	改築	(主)下佐ヶ野谷津線 峰～田中	バイパス 0.705 km	河津町					533	○	
2-A24	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	改築	(主)沼津土肥線 西浦久料	現道拡幅 0.22 km	沼津市					205	○	
2-A37	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	改築	(一)山中湖小山線 藤曲	バイパス 0.256 km	小山町					500	○	
2-A41	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	改築	(主)富士川身延線 岩淵	現道拡幅 0.09 km	富士市					148	○	
2-A52	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	改築	(一)豊田竜洋線 源平新田	現道拡幅 0.97 km	磐田市					50	○	
2-A53	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	改築	(主)焼津森線 倉真	現道拡幅 0.6 km	掛川市					220	○	
2-A54	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	改築	(主)掛川浜岡線 下平川	バイパス 1.5 km	菊川市					736	○	
2-A66	道路	一般	静岡県	直接		市町村道	改築	(1)成持吉祥線 二条	現道拡幅 1.2 km	南伊豆町					176	○	
2-A69	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	(1)0114号線 東山	現道拡幅 0.6 km	御殿場市					612	△	H30
2-A70	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	(1)0115号線 (1工区)鮎沢	バイパス 0.7 km	御殿場市					17	△	H28
2-A71	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	(他)3679号線 町屋	バイパス 0.5 km	御殿場市					136	△	H28
2-A73	道路	一般	伊豆市	直接		市町村道	改築	(他)32190号線 大平	バイパス 0.5 km	伊豆市					326	○	
2-A74	道路	一般	伊豆市	直接		市町村道	改築	(2)出口平石線 小土肥	現道拡幅 1.7 km	伊豆市					78	○	
2-A76	道路	一般	函南町	直接		市町村道	交安	(1)1-6号線 粕谷	歩道整備 0.4 km	函南町					117	△	H27
2-A77	道路	一般	函南町	直接		市町村道	改築	(他)仁田32号線 仁田	現道拡幅 0.2 km	函南町					90	○	
2-A78	道路	一般	小山町	直接		市町村道	改築	(1)足柄三保線 竹之下～菅沼	現道拡幅 0.2 km	小山町					79	○	
2-A80	道路	一般	袋井市	直接		市町村道	改築	(他)上久能鷺巣線 久能	バイパス 0.4 km	袋井市					465	○	
2-A81	道路	一般	湖西市	直接		市町村道	改築	(1)筒川笠子線 白須賀	現道拡幅 1.5 km	湖西市					110	○	
2-A82	道路	一般	湖西市	直接		市町村道	改築	(2)弁天浜名線 新居町新居	現道拡幅 0.1 km	湖西市					8	○	
2-A94	道路	一般	南伊豆町	直接		市町村道	改築	(他)妻良区内8号線 妻良	バイパス 0.06 km	南伊豆町					12	○	

2-A95	道路	一般	伊豆市	直接		市町村道	改築	(1)横瀬大平線 修善寺	バイパス	0.2 km	伊豆市					500	△	H28				
2-A98	道路	一般	川根本町	直接		市町村道	改築	(2)小長井田代線 東藤川	現道拡幅	0.1 km	川根本町					30	○					
2-A100	道路	一般	川根本町	直接		市町村道	改築	(1)高郷田野口停車場 上長尾	バイパス	1.1 km	川根本町					45	△	H25				
2-A101	道路	一般	西伊豆町	直接		市町村道	改築	(2)田子海岸通線 田子	現道拡幅	0.1 km	西伊豆町					89	△	H25				
2-A103	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	改築	(一)十国峠伊豆山線 泉	現道拡幅	0.33 km	熱海市					250	○					
2-A105	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	改築	(主)袋井春野線 森川橋	現道拡幅	0.355 km	森町					948	○					
2-A106	道路	一般	東伊豆町	直接		市町村道	修繕	(1)湯ノ沢草崎線 大川	法面補修	0.6 km	東伊豆町					300	△	H33				
2-A107	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	改築	(主)細江金谷線 切山	バイパス	1.6 km	牧之原市					300	○					
															合計					7,080		

B 関連社会資本整備事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考						
										H21	H22	H23	H24									
2-B1	交安施設	一般	静岡県	直接		公安	信号機設置事業	信号機の設置	沼津市他						30	○						
															合計					30		

番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
2-B1	地方道路事業と一体で整備することにより、円滑な交通処理を図る。																	

C 効果促進事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考						
										H21	H22	H23	H24									
2-C3	渋滞対策	一般	静岡県	直接		交通情報施設設置	伊豆東海岸交通転換対策	交通情報機器の設置	熱海市 他4市町						142	○						
2-C5	公共交通	一般	川根本町	直接		交通円滑化対策	観光期の交通円滑化事業	交通誘導対策(案内看板設置、広報等)	川根本町						10	○						
2-C7	社会実験	一般	静岡県	直接		料金割引	伊豆スカイライン料金割引社会実験	料金引き下げ実験	函南町、他4市						183	○						
2-C8	施設整備	一般	伊豆の国市	直接		観光案内所整備	観光案内所整備	案内看板等の整備	伊豆の国市						155	—	中止					
2-C9	施設整備	一般	静岡県	直接		料金割引	伊豆地域有料道路 交通転換事業	定期券方式による社会実験	伊豆市他						43	○						
2-C10	施設整備	一般	静岡県	直接		渋滞対策	新東名関連道路 渋滞状況調査	交通量調査、整備効果の分析	御殿場市他						30	○						
															合計					563		

番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
2-C3	(主)熱海大仁線(2-A20)や(一)中大見八幡野線(2-A21)等の道路改良事業と合せて実施することにより、渋滞している(国)135号から伊豆スカイラインへの交通転換が図られ、伊豆東海岸地域の渋滞の緩和による交通の円滑化および観光交流客数の拡大が期待できる。																	
2-C4, C5	地元観光産業の拠点とのアクセス強化を目的とした(主)川根寸又峡線(2-A50)の道路改良事業と合わせて、狭隘区間における案内看板の設置や広報PR活動等による交通誘導対策を一体的に実施することにより、狭隘区間も含めた円滑な交通機能を確認することができ、観光産業への早期支援が期待されるとともに、狭隘区間での交通混雑の緩和と寸又峡温泉等への到達時間の短縮が図られる。																	
2-C7	土日祝日、全車種を対象とした伊豆スカイラインの料金割引により伊豆地域への観光交流客数が増加し、地域産業の活性化が図られると共に、並走する国道135号からの交通転換が促され、(一)中大見八幡野線(2-A21)や別途補助事業の(国)135号吉田～川奈拡幅と一体的に事業を進めることにより、現道の渋滞緩和及び交通事故の減少など、より一層の事業効果が期待される。																	
2-C8	道路利用者の便利・安全・快適性を向上するため、観光案内看板や駐車場などを整備するものである。これにより、観光地までの経路が容易になりドライバーが目的地まで迷うことなく運転でき渋滞緩和につながる。																	
2-C9	全日、普通車以下を対象とした伊豆中央道・修善寺道路への定期券の導入により、渋滞の激しい国道136号からの交通転換が促され、伊豆地域で実施している基幹事業と一体的に事業を進めることで、現道の渋滞緩和が期待できる。																	
2-C10	新東名高速道路供用後に周辺道路の交通量調査、利用者ニーズの把握などを行い、基幹事業で実施している事業の再点検及び必要に応じた見直しを行うことにより、渋滞緩和が期待できる。																	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

その他関連する事業											
計画等の名称 30 快適にヒト・モノが行き交う“ふじのくに”のみちづくり											
事業種別		交付 団体	要素となる事業名（事業箇所）				市町村名		全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
2-A' 1	道路	静岡県	(国)136号	吉佐美バイパス			下田市	50	—	未実施	
2-A' 2	道路	静岡県	(国)136号	土肥拡幅			伊豆市	990	△	H30年代前期	
2-A' 3	道路	静岡県	(国)136号	雲見～松崎拡幅			松崎町	105	△	H30年代中期以降	
2-A' 4	道路	静岡県	(国)301号	利木拡幅			湖西市	387	△	H27	
2-A' 5	道路	静岡県	(国)362号	本川根～静岡バイパス			川根本町	771	△	H30年代中期以降	
2-A' 7	道路	静岡県	(国)414号	須原拡幅			下田市～河津町	802	△	H30年代前期	
2-A' 8	道路	静岡県	(国)469号	山宮バイパス			富士宮市	213	△	H20年代後期	
2-A' 9	道路	静岡県	(国)469号	精進川拡幅			富士宮市	50	—	未実施	
2-A' 10	道路	静岡県	(国)469号	下稲子IIバイパス			富士宮市	801	△	H26	
2-A' 11	道路	静岡県	(国)473号	地藏峠IIバイパス			島田市	140	△	H30年代前期	
2-A' 12	道路	静岡県	(国)473号	竹下			島田市	50	—	未実施	
2-A' 13	道路	静岡県	(一)下田南伊豆線	大賀茂			下田市	340	△	H28	
2-A' 22	道路	静岡県	(一)伊東川奈八幡野線	富戸			伊東市	438	△	H25	
2-A' 23	道路	静岡県	(一)原木沼津線	徳倉～大平			清水町～沼津市	416	△	H27	
2-A' 25	道路	静岡県	(主)大岡元長窪線	元長窪			長泉町～沼津市	2,135	△	H25	
2-A' 26	道路	静岡県	(主)三島富士線	井出			沼津市	260	△	H28	
2-A' 27	道路	静岡県	(一)原木沼津線	大平			沼津市	259	△	H26	
2-A' 31	道路	静岡県	(一)仁杉柴怒田線	仁杉			御殿場市	600	△	H32	
2-A' 34	道路	静岡県	(一)静岡港徳島山停車場線	南江間			伊豆の国市	820	—	未実施	
2-A' 40	道路	静岡県	(主)富士富士宮由比線	北松野			富士市	200	△	H29	
2-A' 42	道路	静岡県	(一)須津東田子浦停車場線	川尻東			富士市	205	△	H29	
2-A' 51	道路	静岡県	(主)島田吉田線	片岡			吉田町	975	△	H26	
2-A' 56	道路	静岡県	(主)吉田大東線	吉沢			菊川市	350	△	H26	
2-A' 59	道路	静岡県	(一)沼津三島線	黄瀬川橋			沼津市～清水町	900	△	H25	
2-A' 60	道路	静岡県	(一)下土狩沼津港線	徳倉橋			清水町	120	—	未実施	
2-A' 61	道路	静岡県	(一)富士由比線	岩本工区			富士市	1,044	△	H30年代中期以降	
2-A' 62	道路	静岡県	(一)富士由比線	新々富士川橋工区			富士市	100	—	未実施	
2-A' 63	道路	静岡県	(主)島田吉田線	中河工区			島田市	940	△	H25	
2-A' 65	道路	静岡県	(1)湯ヶ岡赤川線	奈良本			東伊豆町	610	△	H25	
2-A' 67	道路	静岡県	(1)山口雲見線	岩科南側			松崎町	185	△	H28	
2-A' 68	道路	静岡県	(2)出口平石線	小土肥			伊豆市	205	△	H28	
2-A' 84	道路	静岡県	(主)掛川川根線	萩間			掛川市	180	—	未実施	
2-A' 87	道路	静岡県	(国)135号	吉田～川奈拡幅			伊東市	325	△	H30年代中期以降	
2-A' 88	道路	静岡県	(国)136号	函南～三島バイパス			函南町	4,087	△	H26	
2-A' 89	道路	静岡県	(国)150号	志太～橋南バイパス			焼津市	2,241	△	H20年代後期	
2-A' 90	道路	静岡県	(国)150号	志太～橋南IIバイパス			吉田町	1,902	△	H20年代後期	
2-A' 91	道路	静岡県	(国)150号	磐南IIバイパス			磐田市	750	△	H30年代中期以降	
2-A' 92	道路	静岡県	(国)414号	静岡バイパス			沼津市	396	△	H30年代中期以降	
2-A' 93	道路	静岡県	(国)362号	青部バイパス			川根本町	678	△	H30年代前期	
2-A' 99	道路	静岡県	(1)高郷田野口停車場線	上長尾			川根本町	80	△	H26	
2-C' 2	渋滞対策	静岡県	富士山登山道路マイカー規制				富士宮市 他4市町	102	○		
2-C' 4	公共交通	静岡県	観光期の交通円滑化事業				川根本町	10	△	H26	
2-C' 11	施設整備	静岡県	(国)136号(函南～三島バイパス)無電柱化				函南町	15	—	未実施	

計画等の名称 35 安心安全な暮らしを支え快適に移動できるみちづくり																			
事業種別		交付 団体	要素となる事業名（事業箇所）				市町村名		全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考								
2-A' 79	道路	袋井市	(1)湊甲新田線 湊				袋井市		980	△	H27								
事業種別		地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考	
												H21	H22	H23	H24				
A'	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	交安	0.55	(一)函南停車場反射炉線	菰山多田	歩道整備	0.2 km					140	○	
	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	交安	0.55	(一)山中湖小山線	湯船	歩道整備	1.6 km					146	○	
	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	交安	0.55	(主)焼津榛原線	利右衛門	歩道整備	0.3 km					75	○	
	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	交安	0.55	(一)静岡朝比奈藤枝線	岡部町宮島	歩道整備	0.6 km					310	○	
	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	交安	0.55	(主)川根寸又峽線他		道路情報提供装置の設置						60	○	
道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一)御園伊豆仁田停車場線	間宮	現道拡幅	0.5 km						820	△	H28

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

【H24】GのNo.2～11

(別添)事業実施計画(参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

(国) 136号函南～三島バイパスの整備により現道交通が転換するなど、道路ネットワークが強化されたことにより円滑な交通が確保され、渋滞損失時間の削減や30分行動圏人口カバー率の拡大に寄与した。  
(なお、本路線は平成23年度までの本計画から移行した次計画により、平成25年度末に供用を開始した。)

定量的指標の達成状況	指標① (県民1人当たりの渋滞損失時間)	最終目標値	32.9時間	目標値と実績値に差が出た要因	指標値は、国の公表値を使用することとしていたが、計画期間中、国が数値を未公表とすることとしたため、実績値は不明。 (参考に、県で独自に実績に相当する値を算出したところ、目標値を超える32.4時間となった)	
		最終実績値	—			
	指標② (中心都市等への30分行動圏人口カバー率)	最終目標値	92.5%	目標値と実績値に差が出た要因		新東名高速道路の開通と合わせ、各種道路が供用されたことにより、30分行動圏となるエリアが広がった。
		最終実績値	93.2%			
	指標③ ( )	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値				

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

- ・ (一) 山中湖小山線、(主) 掛川浜岡線などの県道整備や、市道上久能鷲巣線 (袋井市)、市道32190号線 (伊豆市) などの市道整備により、拠点間の円滑な通行が可能となった。
- ・ 伊豆地域で、有料道路の利用を促進し交通の円滑化を図るため社会実験を行い、効果検証の結果を踏まえ新たな料金施策を導入した。

3. 特記事項 (今後の方針等)

計画期間終了後も、各種交付金を活用して、地域の拠点間を結ぶ道路のネットワーク構築や渋滞対策を推進している。今後も効率的に道路整備を推進し、産業活動や地域の生活の支援および交流の拡大を図る。

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

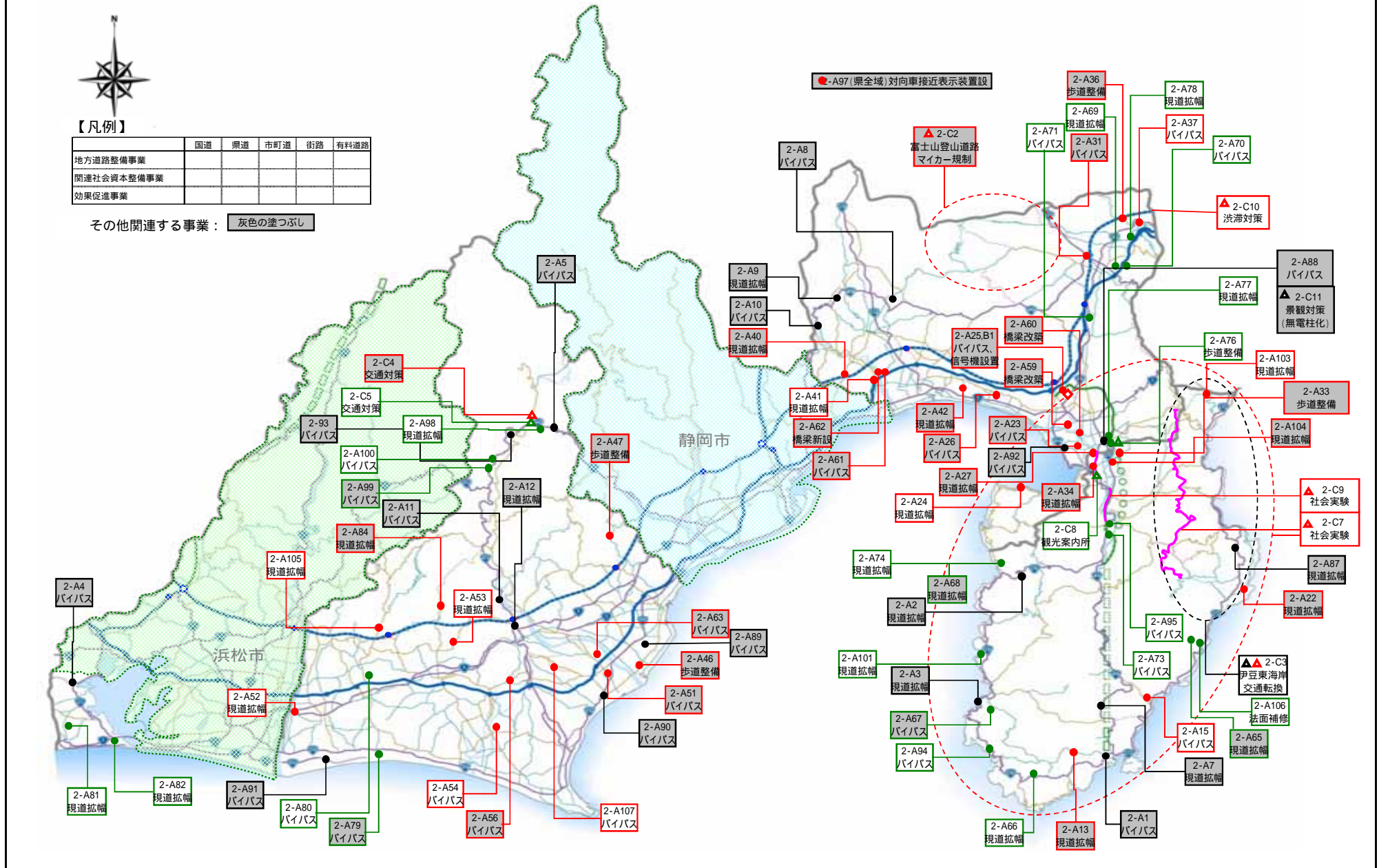
計画の名称	円滑な拠点間交通の確保	交付対象	静岡県、御殿場市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、小山町、袋井市、湖西市、川根本町、南伊豆町、西伊豆町、東伊豆町
計画の期間	平成21年度 ~ 平成24年度		



【凡例】

	国道	県道	市町道	街路	有料道路
地方道路整備事業					
関連社会資本整備事業					
効果促進事業					

その他関連する事業： 灰色の塗つぶし



# 事業効果の発現状況(例)

基幹事業(国道改築) (国)136号函南～三島バイパス(函南町塚本～三島市大場)

バイパス整備により、東駿河湾環状道路と一体となって、沼津・三島地域における道路ネットワークが強化されたことで、慢性的に発生していた現道の渋滞が解消し、交通の円滑化が図られました。

(なお、本路線は平成23年度までの本計画から移行した次計画により、平成25年度末に完成し供用を開始した。)



# 事業効果の発現状況(例)

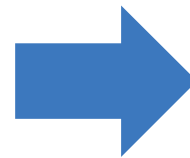
## 基幹事業(県道改築)

県道山中湖小山線において、国道246号中島ICに直結するバイパスを整備することにより、大型車両の安全な通行を確保するとともに、工業団地や富士スピードウェイなどの観光施設へのアクセス向上を図りました。

(一) 山中湖小山線(小山町藤曲)



現道



バイパス

# 事業効果の発現状況(例)

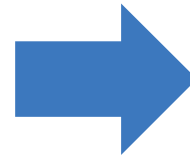
## 基幹事業(県道改築)

県道掛川浜岡線において、現道に並行するバイパスを整備することにより、通過交通と生活交通を分散させ、産業活動や地域生活の支援を図りました。

(主)掛川浜岡線(菊川市下平川)



現道



バイパス



# 事業効果の発現状況(例)

## 基幹事業(市町村道改築)

## 市道上久能鷲巣線(袋井市)

県道袋井春野線と市道久能可睡線を結ぶ路線を整備したことにより、県道袋井春野線の交通渋滞緩和と市民病院や工業団地など周辺施設へのアクセスの利便性が向上しました。

### 事業概要

県道袋井春野線との交差点を起点とし久能工業団地及び市道久能可睡線との交差点を終点とする延長0.4kmの道路であり、県道を中心とした久能地域の交通渋滞を緩和し市民病院と工業団地や観光地である可睡斎など周辺施設への利便性の向上を図るものである。

### 延長・規格

L = 0.4km、4種3級(40km/h)、W = 17m

### 事業期間

平成21年度～平成24年度

### 全体事業費

405百万円



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

# 事業効果の発現状況(例)

## 基幹事業(市町村道改築) 市道32190号線(伊豆市)

天城北道路・国道136号・県道修善寺天城湯ヶ島線へのアクセスがスムーズになり中心市街地(修善寺 駅)への15分以内到達人口が拡大しました。また、修善寺駅前周辺の渋滞の解消にもつながりました。

### 事業概要

市道32190号線は、伊豆縦貫自動車道天城北道路の大平ハーフインターチェンジと県道修善寺天城湯ヶ島線を結ぶ新設道路であり、天城北道路を軸とした高速交通体系へのアクセス道路として慢性的な国道136号や修善寺駅前の渋滞を解消することになり、伊豆市内の交通到達時間を短縮させ、他地域との交流をより活性させるものである。

### 延長・規格

L = 0.52km、3種3級(40km/h)、W = 11m

### 事業期間

平成17年度～平成22年度

### 全体事業費

1,020百万円



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

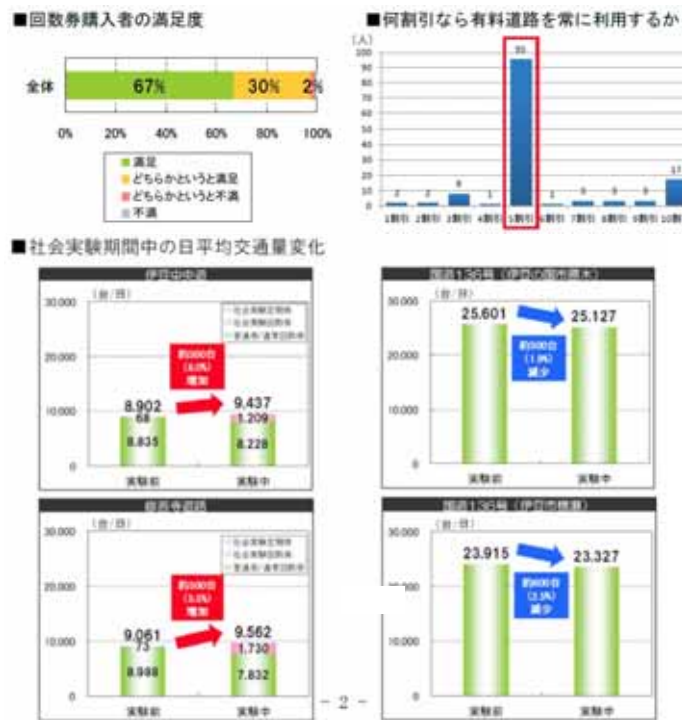
静岡県交通基盤部

# 事業効果の発現状況(例)

## 効果促進事業(伊豆地域有料道路 交通転換事業)

有料道路の伊豆中央道、修善寺道路における定期券導入社会実験、及び回数券割引社会実験の効果を検証しました。この結果を踏まえ、国道136号(現道)の渋滞緩和を図る新たな料金施策を導入しました。

### 社会実験の効果検証



### 新たな料金施策の導入

- ・両道路の料金体系を統一し、回数券を共通化
- ・最大で5割引となる回数券を新たに導入

券種	発売価格(税込)
11回券	2,100円
35回券	6,300円
60回券	10,500円
100回券	16,800円

普通車(200円)  
回数券の場合

券種	発売価格(税込)
11回券	2,000円
—	—
60回券	10,000円
—	—
160回券	16,000円

5割引

※2路線共通回数券

5割引回数券の導入は、国道136号(現道)から有料道路への交通転換を進め、渋滞緩和が期待できる